

令和4年6月30日
ぐんまみらい信用組合

第17回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第17回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第18回会議は、令和3年度決算状況を踏まえて本年8月頃に開催する予定にしております。

記

1. 日 時

令和4年2月9日(月) 午前11時00分～午後0時20分

2. 場 所

ホテルサンダーソン 2階 会議室

3. 出席者

(経営諮問委員) <五十音順、敬称略>

石川 利一 (公益財団法人 群馬県産業支援機構 理事長)

石綿 和夫 (高崎商工会議所 専務理事)

小林 優公 (弁護士)

樋口 努 (群馬県商工会連合会 専務理事)

矢野 修一 (公立大学法人 高崎経済大学 経済学部教授)

(ぐんまみらい信用組合)

八高 武 (理事長)

吉野 健 (専務理事)

新井 伸章 (常務理事)

多胡 忠浩 (常勤理事)

高橋 茂信 (常勤理事)

大野 米雄 (常勤監事)

4. 八高理事長挨拶

皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、「第17回経営諮問会議」にご出席を賜り誠に有難うございます。また、平素は当組合の業務運営に当たり、ご支援・ご協力を賜り重ねて御礼申し上げます。国内景気はオミクロン株の急激な感染拡大により経済活動が大きく左右さ

れ群馬県内では感染者が 37,000 人を超え、「まん延防止等重点措置」も再開され、経済回復や復興支援対策として導入されました「愛郷ぐんまプロジェクト」の3度目の中断や飲食店の営業時間制限、更には半導体を始めとした部品調達難や材料価格の高騰の長期化を懸念する声も多く、ドル高と原油高は世界経済のリスクと判断されていることから今後の経済見通しは厳しさが見込まれております。

取引先皆様への安定した資金供給と充実した金融サービスの提供に取り組み、地域に愛され、必要とされる「ぐんまみらい信用組合」を目指し、役職員一丸となって取り組みしてまいりますので経営諮問委員の皆様方には、新型コロナウイルスの感染防止対策にご留意され、更なるご活躍を心よりご祈念申し上げますと共に、引き続き当組合の運営に対して、ご助言・ご提案を頂ければと考えております。

本日は宜しくお願い致します。

5. 当組合からの説明要旨

当組合より以下の内容について説明いたしました。

- ① 第4期経営強化計画について
- ② 令和3年9月末仮決算の状況及び、第4期経営強化計画の進捗状況について
- ③ 第16回経営諮問会議のご意見・ご提言の取組状況について

6. 意見交換

出席者から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- ・令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられる事になり、単独で取引が出来る若年者が増え、投資詐欺等の犯罪に巻き込まれるケースも出てくると思う。お客様との取引において対策が必要になると思う。
- ・令和4年4月1日からパワハラ防止措置の対応が中小企業も義務化されることとなり、企業の社会的責任や信用が厳しく問われる時代になりますので、お取引先も含めて就業規則の整備や相談窓口を設置する等の対応が必要になると思う。
- ・お取引先だけではなく組合自体のデジタルトランスフォーメーション（DX）への対応が今後は必要になってくると思う。
- ・コロナ禍で経営状況が厳しく今後もこの様な状態が継続し、経営が悪化していく企業については引き続き支援をお願いしたいと思う。

以 上